

ただいま、おかえりって言いあえるまちに みんなで広げよう、 シトラスリボンプロジェクト

シトラスリボンプロジェクトとは

◆ABOUT◆

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。このプロジェクトに賛同した私達は、ここ栃木県でも、このプロジェクトを一人でも多くの県民の皆様にご賛同いただきたく、三人の有志で「IN とちぎ」を立ち上げました。このプロジェクトは愛媛特産の柑橘類にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。

リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）です。「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。

また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる被害も防ぐことができます。感染者が「出た」「出ない」ということ自体よりも、感染が確認された“その後”に的確な対応ができるかどうかで、その地域のイメージが左右されると、考えます。コロナ禍のなかに居ても居なくても、みんなが心から暮らしやすいまちを今こそこことちぎでも、コロナ禍の“その後”も見すえ、暮らしやすい社会をめざしませんか？

シトラスリボン IN とちぎ



感染が確認された方々、私たちの暮らしを守り、支えてくれる方々（医療従事者・「エッセンシャルワーカー」の皆さまなど）が、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちでありますように。そんな想いを共有していただける方に、次にご紹介する方法で、あなたの住むまちにエールを送っていただけるとうれしいです。

1



シトラスカラー（柑橘をイメージした色）のリボン・紐などを準備します。リボンの色や材質はあなたの創意工夫で。

2



その材料で「地域・家庭・職場（or 学校）など」を示す「三つの輪」をつくれれば、「シトラスリボン」のできあがり。結び方は願いが叶うといわれている「叶結び」などをはじめとした結び方を参考に。

3



この「シトラスリボン」を身につけたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示してみたりしてください。「元気ですか?」「また会いましょう!」のことばとともに贈りあうのもよいかもしれません。

4



リボンの画像をSNSで発信することも、このプロジェクトが広まるきっかけになります。
#シトラスリボンINとちぎ
#シトラスリボンプロジェクト



シトラスリボンプロジェクト

INとちぎフェイスブックページ

シトラスリボンプロジェクト from えひめ様 HP より一部引用

ただいま、おかえりって言いあえるまちに
みんなで広げよう
シトラスリボンプロジェクト
IN とちぎ



わたしたちは
シトラスリボンIN とちぎ
に参加しています

感染された方々や、医療の最前線で
働かれている方々が差別されることの無い
やさしさにあふれる社会であることを願って！

ただいま、おかえりって言いあえるまちに みんなで広げようシトラスリボンプロジェクトIN とちぎ



一所懸命に結んでいる人がいます



愛媛県では小学生が結んで地元配っています

わたしたちはシトラスリボンIN とちぎに参加しています

感染された方々や、医療の最前線で働かれている方々が差別されることの無い
やさしさにあふれる社会であることを願って！



下野新聞に掲載されました

さまざまなリボンのかたちがあります

さりげなくリボンを
結んでアピール

シトラスリボンプロジェクトは、新型コロナウイルスによる誹謗中傷を、無くそう。ただいまとおかえりが
言い合える地域でありますようにと愛媛県から始まったプロジェクトです。

この度、「シトラスリボンIN とちぎ」の呼称の使用を快諾頂きグループを立ち上げました。

リボンの3つの輪は、地域、家庭、職場(学校)を表しています。

新型コロナウイルスによる誹謗中傷だけではなく、悲しい事にその他にも沢山の心を指す刃物のような言葉
が世の中に溢れています。そして、今はその言葉が目に見える時代です。新しい生活スタイルが始まって
も優しい言葉の溢れる世の中であって欲しい、それが私たち「シトラスリボンIN とちぎ」の願いです。

リボンについては、はじめは水引で願いが叶うという叶結びで結んでみましたが、特に決まりはありません。
皆さんが、お好きな材料でお作りになれば良いかと思えます。

長くなりましたが、少しずつ、少しずつ優しい人の輪が広がって行くことを願っています。

ただいま、おかえりって言いあえるまでに
みんなで広げよう
シトラスリボンプロジェクト
INとちぎ



手作りの絆で後押し
エコバッグを販売 「啓発リボン」配布

【鹿沼】鹿沼市環境教育推進協議会主催の「エコバッグを販売し、啓発リボンを配布する会」が、2020年6月13日(土)に、鹿沼市市民グループの協力を得て、市民グループの会館で開催された。当日は、エコバッグの販売と、啓発リボンの配布が行われ、参加者からは「エコバッグが身近になるといいな」との声が聞かれた。また、リボンの配布も好評で、多くの方が手に取り、笑顔で話しかけてくれた。この活動を通じて、環境意識の向上と、地域住民の絆を深めたいという思いが込められている。

鹿沼の市民グループ
エコバッグを販売し、啓発リボンを配布する会

届け シトラスリボン
創立記念に合わせ手作り

【宇都宮】宇都宮市立音楽学校で、創立記念に合わせ、シトラスリボンの手作り体験が行われた。当日は、音楽学校の生徒や保護者、地域住民など約50人が参加し、緑色の布を縫ってリボンに仕上げた。また、音楽学校の生徒は、リボンの製作だけでなく、音楽の演奏も行い、会場を盛り上げた。この活動を通じて、音楽学校の歴史を後継者に伝え、地域住民との絆を深めたいという思いが込められている。

音楽で誘われ
ハンガリー

【さくら】ギャラーコンサート「ハンガリー音楽への敬意」が、2020年6月10日(土)午後2時から、市ミュージアム一階ホールで開催された。主催者は参加者を募集している。コンサートは市東部五輪パラリンピック国際音楽祭実行委員会が協賛する。市は障がい者芸術家による演奏会を開催しており、障がい者の芸術家を支援し、市民の理解を深めたいという思いが込められている。

中学生が頑張って結んでいます



まずはひとつ結んでみてください

シトラスリボンINとちぎの活動がつぎつぎと県内の各市町村で広がっています



オリオン通りには巨大なシトラスリボンが！

感染者らへの差別防ごう
シトラスリボン運動、広がります

【宇都宮】宇都宮市立音楽学校で、感染者らへの差別を防ぐための活動が行われた。当日は、音楽学校の生徒や保護者、地域住民など約50人が参加し、緑色の布を縫ってリボンに仕上げた。また、音楽学校の生徒は、リボンの製作だけでなく、音楽の演奏も行い、会場を盛り上げた。この活動を通じて、音楽学校の歴史を後継者に伝え、地域住民との絆を深めたいという思いが込められている。

明日はわが身 費用広がる

【宇都宮】宇都宮市立音楽学校で、明日はわが身 費用広がるという活動が行われた。当日は、音楽学校の生徒や保護者、地域住民など約50人が参加し、緑色の布を縫ってリボンに仕上げた。また、音楽学校の生徒は、リボンの製作だけでなく、音楽の演奏も行い、会場を盛り上げた。この活動を通じて、音楽学校の歴史を後継者に伝え、地域住民との絆を深めたいという思いが込められている。

シトラスリボンプロジェクト INとちぎ



シトラスリボンプロジェクト from えひめ



感染者らへの差別、偏見はNO
シトラスリボン 広がれ

【宇都宮】宇都宮市立音楽学校で、感染者らへの差別、偏見をなくすための活動が行われた。当日は、音楽学校の生徒や保護者、地域住民など約50人が参加し、緑色の布を縫ってリボンに仕上げた。また、音楽学校の生徒は、リボンの製作だけでなく、音楽の演奏も行い、会場を盛り上げた。この活動を通じて、音楽学校の歴史を後継者に伝え、地域住民との絆を深めたいという思いが込められている。

栃木大平雨中で取り組み

【大平】大平市立音楽学校で、感染者らへの差別、偏見をなくすための活動が行われた。当日は、音楽学校の生徒や保護者、地域住民など約50人が参加し、緑色の布を縫ってリボンに仕上げた。また、音楽学校の生徒は、リボンの製作だけでなく、音楽の演奏も行い、会場を盛り上げた。この活動を通じて、音楽学校の歴史を後継者に伝え、地域住民との絆を深めたいという思いが込められている。

広がれシトラスリボン

【宇都宮】新型コロナウイルス感染症や医療関係者への差別、偏見防止を訴えるシトラスリボン運動の広がりを、市民団体の要請で宇都宮市に広げたいという思いが込められている。

県内全市町に市民団体の要請

宇都宮

佐藤市長(左から2人目)にシトラスリボン運動の後押しを要請した3人

長を訪問し、手作りのシトラスリボン100本を送った。シトラスリボンプロジェクトは、県内の運動が始めた。県内の運動が後押しする高根沢町光陽台2丁目、自営業片岡千晴さん(60)らはフェイスブックページ「シトラスリボンINとちぎ」を開発し、既に1000人以上のメンバーが参加している。メンバーは6月に県内市町や社会福祉協議会を巡回し、今月2日の上三川町で全市町に出向いた。片岡さんら3人は佐藤市長を訪問し、「差別、偏見を防ぐため、ぜひ施策として取り組んでほしい」と求めた。市長は新型コロナウイルスによる事態収束に時間がかかることを踏まえ、「感染は必ずしも身が元、こうした運動が必要ですね」と話し、早急な対応を要請した。1日には佐藤市長にシトラスリボンを届け、市長は「感染は必ずしも身が元、こうした運動が必要ですね」と話し、早急な対応を要請した。

(山崎一洋)

宇都宮市長にもご賛同いただきました

シトラスリボンの結び方

